

(様式2)

公の施設の指定管理者制度導入施設の管理運営状況調書【対象年度:令和6年度】

所管部・課	農林商工部 農林整備課
指定管理者	株式会社おもてなしせんぼく

1 施設名等

施設名	花葉館・角館森林総合利用施設	施設の所在地	仙北市角館町西長野古米沢30-19
-----	----------------	--------	-------------------

2 施設の概要

設置年月	平成8年4月	根拠条例等	仙北市花葉館条例・仙北市森林総合利用施設条例
設置目的	仙北市の歴史、文化、伝統及び特産物を通して都市との交流を推進し、山村地域の活性化を図るため		
施設内容	仙北市交流促進センター・仙北市地域特産物提供体験施設・仙北市交流滞在施設・仙北市曲家 仙北市角館森林総合利用施設		
利用料金	仙北市花葉館条例に基づく		

3 指定期間・選定方法

指定期間	令和 4年 4月 1日 ~ 令和 9年 3月31日 (5年間)
選定方法	公募 (応募者数: 1) ・ 非公募 (随意指定)

4 収支の状況(決算ベース)

※財源内訳 (①指定管理料のみ ②指定管理料+利用料金収入 ③利用料金収入のみ) (税込) (単位:千円)

項目／年度		令和5年度	令和6年度	項目／年度		令和5年度	令和6年度
収入	指定管理料	18,954	19,642	支出	維持管理費	144,458	141,494
	利用料金収入	183,049	175,252		事業費		
	その他	16,021	12,601		その他	87,928	78,083
収入合計 ①		218,024	207,495	支出合計 ②		232,386	219,577
※臨時的経費除く。				収支差引(①-②)		-14,362	-12,082

5 指定管理者の業務内容

施設の運営に関する業務、施設及び設備の維持並びに修繕に関する業務、利用料金に関する業務、施設を通じた保健休養と林業経営の合理化に関する業務ほか

6 利用実績等

(1)利用実績【指標:利用者数・利用件数・稼働率】

(単位:人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度(A)	8,550	7,719	7,544	6,702	7,735	6,722	8,160	7,504	7,192	9,093	8,265	8,811	93,997
令和5年度(B)	9,820	8,164	7,798	7,169	8,733	7,157	10,394	8,501	8,032	8,938	8,273	8,219	101,198
(A)／(B)	87.1%	94.5%	96.7%	93.5%	88.6%	93.9%	78.5%	88.3%	89.5%	101.7%	99.9%	107.2%	92.9%

(2)利用料金収入 (税込)

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度(A)	18,094	12,511	16,954	12,962	15,107	12,493	21,334	16,502	12,577	13,505	15,748	7,465	175,252
令和5年度(B)	18,163	13,223	16,040	11,820	15,955	15,224	20,658	18,769	13,154	17,225	12,408	10,410	183,049
(A)／(B)	99.6%	94.6%	105.7%	109.7%	94.7%	82.1%	103.3%	87.9%	95.6%	78.4%	126.9%	71.7%	95.7%

※1～3、5:所管課記入・4、6:指定管理者記入

7 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価記入) ※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項 目	指 定 管 理 者	評価	所 管 課	
				評価
施設の目的に沿った管理運営	協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営の実施を進めている。	B	協定書、仕様書及び事業計画に基づいた管理運営を実施したと認められる。	B
平等な利用の確保	利用予約は先着順で受け付けるなど、平等な利用を確保した。	B	平等な利用を確保できたと認められる。	B
利用者サービス向上の取組	利用者アンケートの結果とお客様の声を毎日のミーティングで発表。速やかな対応に努めた。	B	利用者アンケートの実施結果の内容を分析し、速やかに管理運営に反映させている。	B
自主事業	レストランメニューの変更、温泉利用のお客様にもご利用しやすいよう告知する工夫をした。	B	自主事業が実施されており、施設の設置目的に寄与している。	B
職員・管理体制	常勤職員：14名・非常勤：28名、計42名 仕様書及び事業計画書に基づき職員配置を行った。	B	仕様書及び事業計画に基づく職員配置が行われている。	B
収支状況	収入207,495千円に対し、支出は219,577千円であり、12,082千円の赤字であった。	C	赤字となった具体的な原因を直ちに究明し、今後、集客強化とサービス価値向上に向けた具体的な改善施策の実施を急ぐことを強く求める。	D
今年度の取組 (令和6年度)	日常勤務の姿勢・経費の見直し、集客目標の達成、館内の点検・清掃・消毒の徹底を心がけた。		日常的な管理の徹底や経費削減の取組により、コスト面での一定の効果が確認されている。一方で利用者数・売上ともに十分な回復には至らず、依然として集客面での課題が残っている。今後は利用者ニーズの分析や新たな販促策の実施など、増収に向けた具体的な取組を一層推進することを期待する。	
総合評価	宿泊客と宴会の減少に痛手を受けているが、繁忙期の集客と経費の圧縮に努力し、昨年より利益の赤字を減らすことができた。	B	施設の日常的管理運営は概ね適正と認められるが、最重要課題である黒字化目標が未達の状況を懸念する。経費面で一定の圧縮を図ったものの、集客の取り込み不足により売上の回復に至らず減収基調が続き、収益改善に大きな課題が残っていることが見受けられる。今後、安定的な経営基盤確立に向け、集客不足の根本的な問題点の洗い出しと具体的な改善策の実行を早急に徹底するよう強く求める。	C

〈指定管理者評価区分〉

- A: 仕様書等の内容を上回る成果であった。
 B: おおむね仕様書等の内容どおりの成果であった。
 C: 仕様書等の内容を下回る項目があった。
 D: 仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項があった。

〈所管課評価区分〉

- A: 仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われた。
 B: おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われた。
 C: 仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
 D: 仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

8 制度の効果及び施設管理運営の課題

項 目	指 定 管 理 者	所 管 課
制度の効果	姉妹都市交流は例年通り継続され、特産物販売を通して、都市交流の地域の活性化の推進は進んでいると考えられる。	施設の設置目的(都市交流・地域活性化)に沿った交流事業の継続や特産品販売を通じた貢献は評価できる。指定管理者の独自性を活かした施策により、地域特性を踏まえた集客とサービス提供が進展することを期待する。
施設の管理運営の課題	施設・備品の経年劣化に伴う修繕が年々多くなり、予算計画が多く必要と思われる。	大規模修繕については計画的に行う予定である。

※7～8: 指定管理者及び所管課記入